平成２８年３月１０日

各　位

九州大学 大学院農学研究院 生命機能科学部門
システム生物工学講座 微生物遺伝子資源学分野
教授候補者選考委員会
委員長　伊東　信

九州大学 大学院農学研究院 生命機能科学部門
システム生物工学講座 微生物遺伝子資源学分野
教授候補者の推薦について（依頼）

拝啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて，本選考委員会は下記のとおり農学研究院 生命機能科学部門 システム生物工学講座 微生物遺伝子資源学分野教授候補者を公募することになりました。つきましては，適任者をご推薦くださいますよう，お願い申し上げます。

敬具

記

１．職・人員

教授・１名

２．所属・専門分野

今回採用する教授は，大学院農学研究院 生命機能科学部門 システム生物工学講座に所属し，大学院生物資源環境科学府 生命機能科学専攻 分子微生物学・バイオマス資源化学教育コース担当教員となります。また，当該職は農学研究院附属遺伝子資源開発研究センター 微生物遺伝子開発分野に所属します。

当該職が担当する微生物遺伝子資源学分野は，遺伝子制御学，細胞制御工学， 合成生物学，発酵化学，微生物工学，土壌環境微生物学，生物機能デザイン，バイオプロセスデザイン，家蚕遺伝子資源学，植物遺伝子資源学とともにシステム生物工学講座を構成します。当該講座は生命現象をシステムとして捉え，生物資源の持つ普遍および特異機能の個体，細胞，分子（遺伝子，タンパク質，代謝物）レベルでの統合的理解と，それらのシステム制御による生物生産・生体機能の高度化応用に関する理論構築と技術発展を目指しています。また，担当する大学院教育コースにおいては，これらの研究に関連する基礎及び応用研究開発に携わる人材を組織的に養成するための教育を進めています。

また，当該分野は，農学研究院附属遺伝子資源開発研究センターにおいて，微生物遺伝子開発分野として，家蚕遺伝子開発分野，植物遺伝子開発分野と共に有用微生物に関する遺伝子資源の開発と特性評価，管理と保存に関する総合的研究を展開しています。

当該講座及びセンターの目的を実現するために，微生物遺伝子資源学分野は，微生物の有用遺伝子や新規機能性遺伝子の探索とそれらの構造解析・機能開発を研究方針とし，有用微生物資源の細胞，ゲノム，分子レベルでの統合的理解を推し進めています。特に，微生物遺伝子資源の探索・収集・保存とゲノム解析に関する教育

と研究，細菌，ファージ，プラスミド遺伝子の機能と多様性解析に関する教育研究は不可欠です。そのなかでも，

１）発酵性細菌や好熱性細菌の未利用遺伝子資源と未解明遺伝現象に関する研究

２）発酵性細菌と好熱性細菌ファージやプラスミドの宿主細胞生育阻害遺伝子と阻害抑制遺伝子の解析および新規機能性遺伝子の探索と利用開発に関する研究

３）微生物遺伝子資源の探索・収集・保存と系統解析および及びゲノム解析に関する研究

等の領域において，微生物遺伝子資源学，遺伝子工学，分子遺伝学，細菌学，ウイルス学等の幅広い研究手法を駆使し，先進的教育研究を推進しうる方を求めています。

３．採用予定時期

教授会承認後可能な限り早い時期

４．応募資格

①博士の学位を有する方

②上記の領域１）から３）について優れた業績と該博な識見を有し，大学院及び学部の教育研究に熱意を持って取り組む方

５．担当授業科目

（１）大学院

・修士課程

（生命機能科学専攻分子微生物学・バイオマス資源化学教育コース）

微生物遺伝子工学特論，環境微生物学特論，バイオリソース特論，
微生物遺伝子工学演習等

（国際開発研究特別コース）

修士論文研究Ⅰ，Ⅱ，特別演習Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ等

・博士後期課程

（生命機能科学専攻分子微生物学・バイオマス資源化学教育コース）

分子微生物学・バイオマス資源化学特別講究，分子微生物学・バイオマス資源化学特別演習，分子微生物学・バイオマス資源化学特別実験等

（２）学部

（応用生物科学コース食糧化学工学分野）

微生物学基礎実験，　遺伝子工学実験等

（基幹教育科目）

基幹教育セミナー，課題協学科目等

（国際コース）

必要に応じて担当する。

なお、英語による授業および研究指導も担当して頂きます。

６．提出書類

（１）略歴書

（２）業績目録

原著論文：著者名（応募者本人に下線を，責任著者に＊を附すこと），

題名，掲載雑誌名，巻，号，頁，発行年

(i)査読付き雑誌，(ii)査読なし雑誌，(iii)査読付き国際学会プロシーディング，(iv)その他 で区分すること。

著書：著者名，題名，発行所，発行年
総説・解説等：著者名，題名，掲載雑誌名，巻，号，頁，発行年
特許，学会での受賞，国際学会等招待講演
外部資金導入実績：名称，研究課題名，期間，金額，代表・分担の別
教育実績：担当授業科目等
その他：資格等

（３）これまでの研究の概要と今後の研究に関する抱負（1,500 字程度）
（４）これまでの教育の概要と今後の教育に関する抱負（1,500 字程度）
（教育実績のない場合は今後の抱負）
（５）上記（１）～（４）の書類を PDF 化して保存した CD-ROM 又は USB メモリー
（６）主要論文の別刷またはその写し（5 編）
（７）推薦書
自薦の場合：自薦書および応募者の教育・研究等について問い合わせのできる方２名の氏名および連絡先
他薦の場合：推薦書（1 通）
（８）選考後の応募書類は返却しません。

＊（１）（２）は下記 URL の様式により作成願います。
https://storage.iii.kyushu-u.ac.jp/public/1S6sQAOIsg9ASucBTt1TpwNPJ66XHNFkOcycvXesJhWn

７．面接等
審査の過程で面接を行う場合があります。その際の旅費・滞在費は応募者の自己負担と致します。

８．提出締切
平成２８年４月１５日（金）１７：００　必着

９．提出書類の送付先
〒812-8581　福岡市東区箱崎６丁目１０－１
九州大学大学院農学研究院・生命機能科学部門・生物機能分子化学講座・海洋資源化学分野内
微生物遺伝子資源学分野教授候補者選考委員会
委員長　伊東　信
電話：　092-642-2898　E-mail：　makotoi@agr.kyushu-u.ac.jp
書類は書留またはそれに準ずる方法で提出のこと。

１０．その他
（１）九州大学では，男女共同参画社会基本法（平成１１年法律第７８号）の精神に則り，教員の選考を行います。
（２）本研究院・学府・学部の教育研究の概要等は，下記のホームページを参照してください（http://www.agr.kyushu-u.ac.jp）
（３）送付された資料等は選考以外の目的には使用しません。
（４）給与等についての問い合わせ先：九州大学農学部庶務係（電話 092-642-2802）